

# 令和4年度 生駒市環境モデル都市 取組実績

資料 6

## 環境がまちをつくる

省エネルギーフォーム・リノベーション支援	住宅省エネルギー改修工事補助（建築課）（補助件数 25件） 「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家所有者支援を実施（住宅政策室）（取扱件数16件、全件成立） 戸建て住宅賃貸化促進奨励金（住宅政策室）（補助件数 1件）
太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用	太陽光発電、HEMS、蓄電池またはV2Hの一体的な導入に補助金を交付。 太陽光発電普及促進事業補助 1kWあたり2万円（補助件数 31件） 全額市民出資による市民共同発電所（第1号機～5号機）を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施。
燃料電池・コージェネレーションの導入支援	家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助 1kWhあたり1万円（補助件数 55件）
環境にやさしい移動手段の普及促進	市内の5箇所（市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター）に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用。（利用実績 713件、2,941kWh） 超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続（健康課）（使用実績 1号車10件、2号車16件） V2Hシステム設置補助 1件あたり10万円（補助件数 1件）

## 環境がひとを育てる

家庭でのエコ取組の促進	省エネルギー診断（うちエコ診断）の実施。くらしのブンカサイ in いこま2022でNASOによるうちエコ診断を実施（13件）。 省エネ家電買い換え補助金を交付。（補助額：購入金額の20%（上限3万円）、エアコン466台12,367,000円、冷蔵庫428台12,699,000円、テレビ90台1,429,000円。）
学校・地域への環境出前講座	市民団体・企業等との連携により、くらしのブンカサイ（約2,000名参加）をはじめとした環境啓発事業を実施。市民向けワークショップ「スタイリングウィーク『ジョギングしながらごみ拾い プロギング』」、SDGs出前講座を実施。
住民や企業、他都市と連携した取組	「いこまSDGsアクションネットワーク」の運用を継続。（登録団体数 88）地域におけるSDGsに繋がる事例の創発を促すため、SDGsにまつわるセミナー、マッチングイベントの開催など、会員支援の充実に取り組んだ。複数のSDGsゴール達成に向けて連携して事業を行う2者以上の団体にSDGs推進事業補助金を交付。（1件） 社会福祉協議会や郵便局、スーパー等が集まり、食品ロス削減やフードドライブに関する意見交換会を実施。

## 環境が経済を循環させる

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環	地域新電力会社「いこま市民パワー」による公共施設及び民間事業者への電力供給を継続。供給先数 137施設）市内家庭向けの販売も継続。（供給先数 65世帯）（総量1,930MWh） 令和4年4月、生駒市長に代わって生駒商工会議所会頭が代表取締役役に就任し、民間の経営感覚を取り入れた新体制に移行。
各種EMS導入支援	住宅用エネルギー管理システム（HEMS）設置補助 1件あたり上限1万円（補助件数 37件）
地産地消サイクル構築に向けた取組	フードドライブの実施を継続（回収量 707kg） 自治会集会所等の施設を、世代を超えて楽しく集う場として、自治会・住民が主体となって運営する交流拠点「複合型コミュニティ（まちなえき）」を市内8地域で実施。 地域の買い物見守り支援、地域のにぎわいづくりに資することを目的とし、外出のきっかけとなるような移動販売・出張型サービスを提供する事業者・団体を地域への移動販売等サービス導入の協力店として登録し、利用者とパートナーズのマッチングを支援する「生駒市移動販売等導入支援事業」を2自治会で実証実験実施。